

豊島区東池袋の自動車事故慰霊碑設置に関する記者会見 質疑要旨

日時	令和元年7月12日(水) 午後4時45分～午後5時15分
出席者	区長、総務部長、土木担当部長、区議会議長、広報課長 NHK（首都圏放送センター）、MXテレビ、時事通信・都庁、東京新聞、読売新聞社、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、豊島新聞、公明新聞（10社）
案件	豊島区東池袋の自動車事故慰霊碑設置について

記者	区にとって、慰霊碑はどういう存在になっていくか。
豊島区長	現在、詳細は未定だが、ご遺族の意向が通じるものということが最重要事項。ご遺族と話し合いのうえ、慰霊碑という形にたどり着いた。
記者	具体的にどういったものになるのかは、ご遺族の話と踏まえてということか。どういう象徴になってほしいと考えているか。
豊島区長	「全国に呼び掛けていく」というご遺族の強い願いが、募金という形に繋がった。この事故は、豊島区民だけの問題ではない。しっかり全国に発信していけるように努めたい。
記者	慰霊碑設置につき、「予算1千万円」とあるが、その基準は何か。また、一般的な慰霊碑の予算はどれくらいか。
総務部長	明確な基準はない。また、慰霊碑等の設置についても、必要経費は千差万別である。一般的に、簡易なモニュメントであれば200～300万円ほどかかる。そういったものよりも、しっかりしたものを想定しているので、この金額を設定した。慰霊碑は過去に向けてではなく、未来に向けて設置するもので、風化させないという思いを込める。デザインなども考えていく必要がある
区長	募金にご協力いただいた方の氏名を刻んだ銘板の設置なども検討したい。
記者	デザインの公募などは考えているか。
総務部長	現在は未定。ご遺族と相談のうえ、決めたい。
記者	募金額が予算1千万円を上回った際は、余剰金をどのように扱うか。
区長	まず、納得できるような慰霊碑を設置することが第一と考えている。そのうえで目標額を上回った場合、ご遺族の意向を尊重しつつ次の形を模索したい。
記者	慰霊碑の計画は区の発信か。
区長	区の発信である。ご遺族と話し合いを重ね、「全国の皆さんから関心を持っていただける形でなら」と賛同していただいた。現在、事故に対して全国的に関心を持たれているが、このまま風化するのではないかと、という恐れがある。献花台にも多くの反応があったが、永続的に置くことができないので、やはり慰霊碑という形で人々が手を合わせられる場所を残すことが重要だと考えた。
記者	慰霊碑の設置に関して、すべて募金でまかなうとのことだが、区の支出は考えていないか。

総務部長	万が一、目標額に達しない場合はその可能性も視野に入れている。募金状況等の進捗を見つつ考えていきたい。
区長	目標達成のための努力は惜しまない。全国の皆様の思いとご遺族の意向を考え、「なんとしても募金を目標額まで集めなければ」という気持ちである。
記者	余剰金における慰霊碑設置以外の用途は？
区長	現時点では慰霊碑のみ。
記者	慰霊碑の設置の時期はいつか。また、設置後の慰霊の行事などは考えているか。
区長	9月30日の交通安全週間を募金の終了時期に設定した。よって、その後、慰霊碑の設置を予定している。
総務部長	事故日にあたる4月19日には何らかの行事を実施することを考えていきたい。それまでには設置を完了したい。